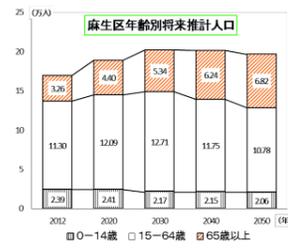


麻生区区民会議 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会 調査審議状況

これまでの議論

【背景】・将来加速する高齢化、若者減少の抑制
・区内では開発行為が進んでいる

【対策・方向性】
・今から若者が住みたくなるまちづくりが必要
・芸術・文化の振興による魅力づくり
・若者が住みたくなるためには、子育て支援も必要
・芸術・文化と子育て支援が共存したテーマとして審議



■「芸術・文化のまちづくり」に関わる、第3期区民会議からの関連提言内容

1. 文化担当官の設置
子どもから大人まで多くの区民が更に芸術・文化を楽しめる体制づくり など
2. (仮称) 麻生文化会議の設置
地元芸術家や団体等とのネットワーク強化 など
3. 川崎市都市景観条例の見直しと弾力的な運用
広告幕、のぼりや立看板、出典制限などに関する関係者を交えた協議 など



若者が住みたくなる魅力あるまちづくりが必要 → 2つのテーマ設定

- 子育てしやすい環境づくり
- 芸術・文化のまちづくり

子育てしやすい環境づくり (仮説)

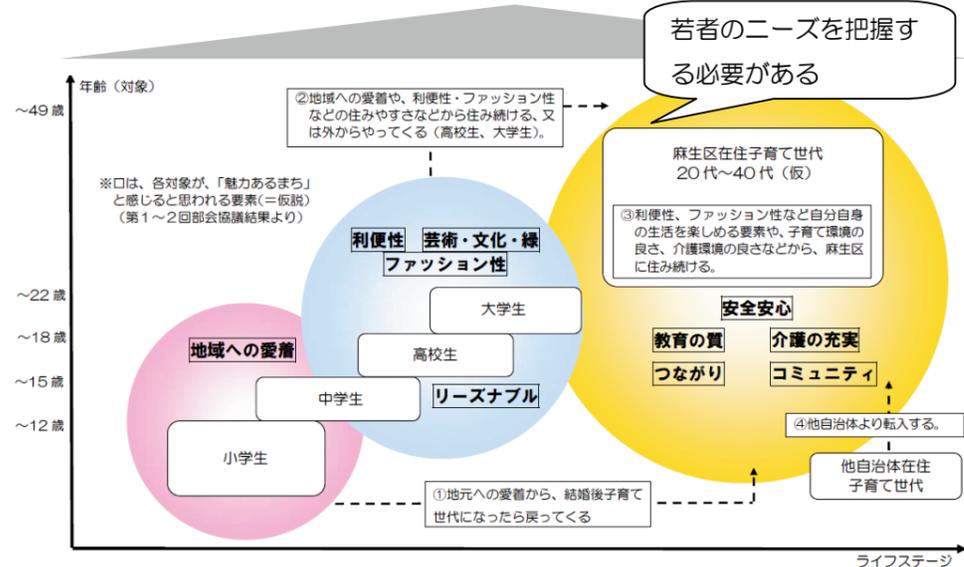
- 子育てしやすい環境のあるまち (子育て世代 (20代~40代))
安全で安心に暮らせて、近所の繋がりが深く、教育の質が高く、介護の充実したまち
- 地域社会で支える子育て/少年の地域への愛着を育む取組みのあるまち
町会など地元で育つ機会をつくったり、高齢者とも触れ合いながら、子どもが生きる力を身に付けるとともに、地域への愛着を育めるまち
- 緑・農業のあるまち：地産地消など農業を楽しめる環境づくりのあるまち
- スポーツのあるまち：健康増進、活力、人間形成、地域の繋がりに寄与する。

芸術・文化のまちづくり (仮説)

- 芸術・文化のまち
芸術・文化施策が継続的に取り組まれ、地域の芸術家や団体の広報を連携して点から面として情報発信を図るネットワークを構築し、子どもから大人まで楽しめる芸術・文化のまち
- 芸術・文化を通じた若者・子どもの育成
芸術・文化の実習・体験や、地域での行事・集まりに若者・子どもが参加できる機会のあるまち

提言の目的：麻生区の特徴である芸術文化のまちづくりの推進により、豊かな芸術文化環境が創出され、若者や子育て世代などが他地域より流入し、年少人口・生産年齢人口が維持され(増え)、地域が活性化する。

提言の目的：住みやすさ、子育て環境など良さから、麻生区で育った子どもや学生が住み続けるとともに、他自治体の子育て世代が流入し、年少人口・生産年齢人口が維持され(増え)、地域が活性化する。

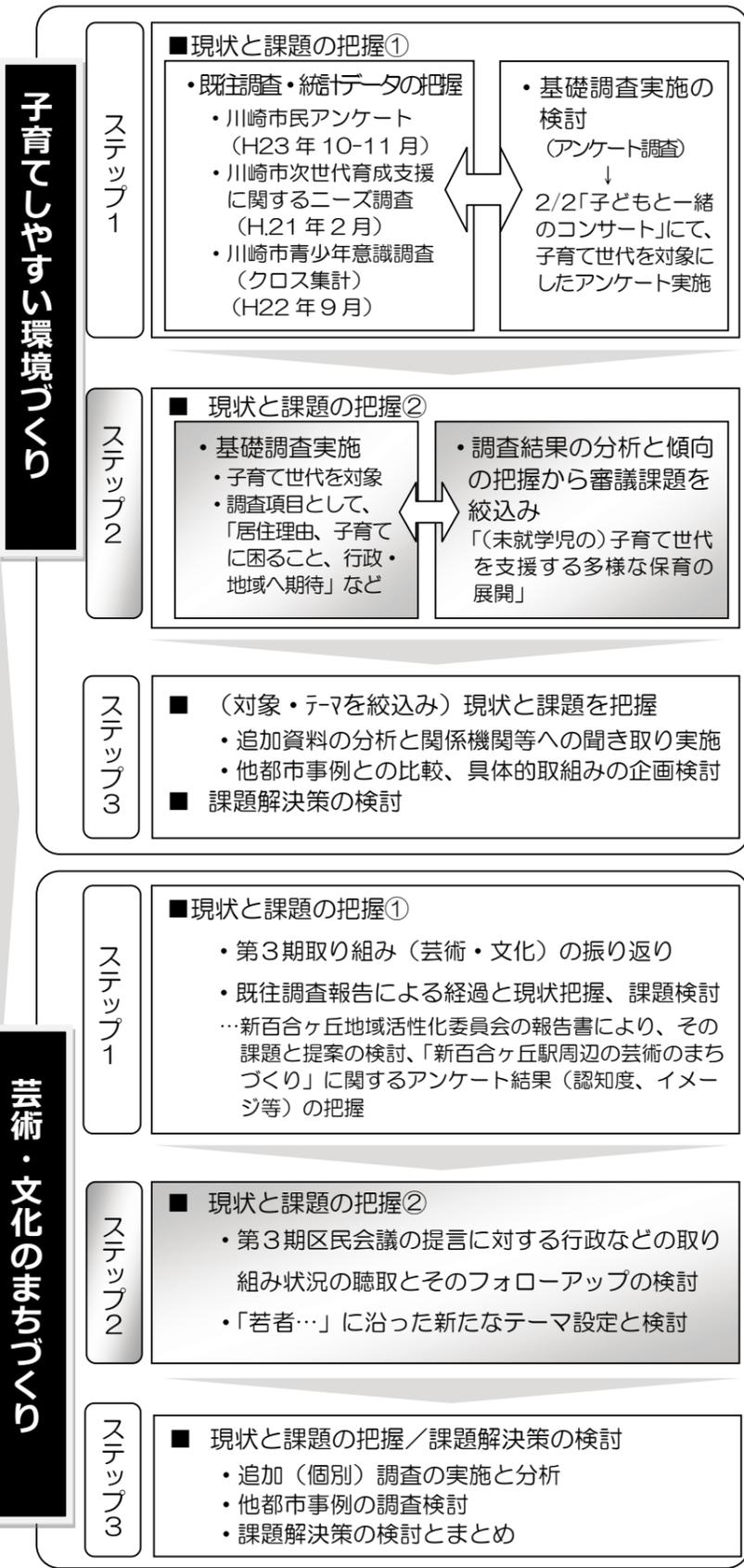


- 既往調査・統計データの分析
- 基礎調査の実施
・2/2 子育て世代を対象にアンケートを実施(居住理由、子育てに困ること、行政・地域への期待などの設問項目)

- 第3期区民会議提言内容のフォローアップ
行政関連部署などの取り組み状況について意見聴取し、施設・団体等への追加ヒアリング実施についても検討する。
- 「若者…」部会に沿う新たなテーマを設定・検討

- 基礎調査の結果分析と傾向の把握
・(子育てで困ること) 保育園が定数いっぱいに入所できない、いざというときに子どもを預かってくれる人がいない、ほか
・(行政へ期待) 公園や広場、スポーツ・芸術文化施設や活動の充実ほか
・(地域へ期待) 子どもイベントや行事、休日に親子で過ごせる場所ほか
- 課題の絞込み
→ 「(未就学児の) 子育て世代を支援する多様な保育の展開」

調査審議 ~仮説の検証~ (現状と課題の把握、他市事例等)



提言内容のまとめ